

アクティビティに挑戦 赤字バス路線に税金を使うべきか？(教科書p. 166～167)

 年 組 番

TRY1

①A～C の各地区間を運行するバスの利益(または損失)を計算しよう。

A～B 地区	円	A～C 地区	円
--------	---	--------	---

TRY2

①<対話>赤字バス路線は税金を使うべきものに当たるかどうか検証しよう。その際、「公益性」と「経営の効率化」の両方を満たすことが難しい場合、何を重視するか考えよう。

--

②<対話>市長としての立場から、教科書 p. 166 ③の解決策①～⑤のなかから適切だと思うものを選び、その理由を考えてみよう。また、それ以外に解決する方法はあるか考えてみよう。

主な解決策	変更後の運賃	市の年間負担額	市民 1 人あたりの年間負担額
①バスを廃止、民間タクシーのみ	5000 円	0 円	0 円
②バスを廃止、民間の乗り合いタクシーを運行 (予約制、税金補助あり)	500 円	500 万円	50 円
③バスを廃止、ライドシェア(相乗り)を導入	200 円	0 円	0 円
④本数を半分にし、運賃はそのまま	500 円	750 万円	75 円
⑤本数を減らさず、運賃もそのまま	500 円	2000 万円	200 円

解決策	理由

振り返り

◎…よくできた ○…できた △…あまりできなかった

赤字バス路線の例を通して、財政の役割や税金の使いみちをめぐるさまざまな考え方について理解することができた。(◎ ○ △)

効率と公正などの見方・考え方を働かせて、ふゆき市の赤字バス路線に税金を使うべきか、自分の考えを表現できた。(◎ ○ △)